

2026 年 9 月 16 日

報道関係各位

ミニメドジャパン合同会社

ミニメドジャパン 日本初の最大 7 日間装着可能な インスリンポンプ用注入セットを発売

交換頻度の半減と「かんたん 3 ステップ装着」で、糖尿病管理の負担軽減に貢献

ミニメドジャパン合同会社（本社：東京都港区／以下、ミニメドジャパン）は、日本初*最大 7 日間装着可能な注入セット「エクステンデッド™注入セット」を 9 月 14 日に発売いたしました。インスリンポンプ療法や自動インスリン注入（AID：Automated Insulin Delivery）療法では、インスリンポンプ本体と皮下に留置するカニューレをつなぎインスリンを体内へと注入するための注入セットの定期的な交換が欠かせませんが、従来型の注入セットでは、2～3 日に 1 回交換が必要でした。ミニメド™780G システムなどミニメド 700 シリーズのインスリンポンプシステムやミニメド AID システム専用設計されたエクステンデッド注入セットは、最大 7 日間使用可能であり、交換頻度や穿刺回数を半減できることから、患者さんやご家族の糖尿病管理に伴う手間や煩わしさの軽減が期待されます。さらに、インスリン頻回注射療法（MDI）と比較すると針の穿刺回数を最大 96%低減できます。†

*2026 年 9 月当社調べ。日本国内においてインスリンポンプの薬事承認を取得している注入セットの公開製品情報および添付文書をもとに装着可能期間を比較した結果、最大 7 日間装着可能なインスリンポンプ用輸液セットとして日本初。



【製造販売元】日本メトロニック株式会社
販売名：インスリンポンプ 注入セット
医療機器承認番号：225ACBZX00013000



エクステンデッド注入セットは、インスリンの流れと安定性を最大 7 日間維持するための新たな素材と、インスリンの安定性維持に配慮した設計を採用することで、装着期間を従来型の自社注入セットと比較して約 2 倍に延長します。新しいチューブコネクタは、インスリンの安定性を向上させるとともに、注入セット閉塞リスクの低減に貢献します。¹ 粘着テープは最大 7 日間の貼付でも快適性と耐久性を維持できる、肌に優しくはがれにくい接着層が採用されています。² 穿刺器具であるサーターが注入セットと一体型になっているため、①剥離紙をはがし、②保護キャップを外し、③ボタンを押す、の「かんたん 3 ステップ」で装着できます。これにより、インスリンポンプ療法や AID 療法のための手技習得が容易になり、これらの治療法の導入をより円滑にします。エクステンデッド注入セットに併用するエクステンデッドリザーバーは、最大 7 日間インスリンを安定した状態で安全に使用できるよう試験・認証を受けた、専用の注入セット用リザーバーです。^{3,4}



エクステンデッド注入セットはサーター（穿刺器具）一体型で装着が簡単に

エクステンデッド注入セットの日本導入について、神戸大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌内科学部門 准教授の廣田勇士先生は次のように述べています。

「従来の注入セットでは 2～3 日に 1 回の交換が必要であり、患者さんやご家族は、旅行や出張、学校行事などの予定を立てる際にも、注入セット交換のタイミングを考慮する必要がありました。また、小児や介護を必要とするご高齢の方では、ご家族や介護者が注入セットの交換を担うことも多く、交換回数が減ることの意義は大きいと考えています。最大 7 日間使用可能なエクステンデッド注入セットによって交換頻度が半分になることで、患者さんやご家族、介護者にとって、糖尿病管理に伴う精神的な負担や日々の手間が軽減され、より自然な日常生活につながることを期待されます。

また、簡単な手技で使用を開始できることや、交換回数を減らせることは、これまで AID システムの導入をためらっていた患者さんにとっても、新たな選択肢になると考えています。このような技術革新を通じて AID 療法への移行が促進され、より多くの患者さんが良好な血糖管理と治療の恩恵を得られることを期待しています。」

エクステンデッド注入セットの臨床試験において、最大 7 日間使用した場合でも、インスリンの安定性ならびに注入セットの安全性と性能が維持されることが確認されました。^{3,4} エクステンデッド注入セットを使用した被験者からは、従来の自社注入セットと比較して装着のしやすさや快適さについて高い満足度が示され、最長 7 日間使用可能な長期装着機能についても、インスリンポンプ療法に伴う負担軽減につながる改善として評価されました。⁵

また、ミニメドジャパンは、注入セット「Sure-T™」を 10 月に発売いたします。Sure-T は金属製カニューレを採用しており、PTFE（ポリテトラフルオロエチレン）製カニューレでアレルギーやソフトカニューレの屈曲に不安がある方へ、インスリンポンプ療法や AID 療法の新たな治療選択肢を提供します。対象となる患者さんは限定的であるものの、私たちは一人でも多くの患者さんが自分に適した治療を選択できる環境づくりを目指し、治療選択肢の拡充に取り組んでまいります。

ミニメドジャパンの日本法人社長 岡 光代は次のように述べています。

「この度のエクステンデッド注入セットと Sure-T の国内導入により、日本の患者さんへ新たな治療選択肢をお届けできることを大変嬉しく思います。私たちは、糖尿病とともに生きる方々が治療にあわせて生活を組み立てるのではなく、それぞれの目標や大切なことに向き合いながら、自分らしい毎を送れる環境づくりを目指しています。

エクステンデッド注入セットは手技が簡単で交換頻度が少なくなることで、治療負担の軽減に貢献し、Sure-T はソフトカニューレが使用しづらい患者さんにも、インスリンポンプ療法や AID 療法の選択肢を提供します。私たちは今後も、患者さん一人ひとりに寄り添ったソリューションの提供を通じて、誰もが自分に適した治療にアクセスできる環境づくりに取り組み、患者さんご家族の方々のより良い毎日に貢献してまいります。」

ミニメドジャパンは、今後も科学的エビデンスと臨床現場のニーズに基づき、患者さんとそのご家族、医療従事者を支援する革新的な治療ソリューションの提供を通じて、糖尿病治療のさらなる発展に貢献してまいります。

インスリンポンプについて

インスリンポンプとは、主に 1 型糖尿病をはじめ、インスリン治療を必要とする方が体に装着し、皮下に細くやわらかいチューブ（カニューレ）を留置して、小型の携帯ポンプで持続的にインスリンを注入する医療機器です。最近では、自動インスリン注入（AID）の機能を備えたものも登場しています。これらのシステムは、血糖の変化**を持続的にモニタリングし、インスリン投与を自動的に調整***することで、目標とするグルコース範囲にいる時間（Time In Range : TIR）の増加や、血糖管理目標の達成に寄与することが期待されており、AID 療法は、海外をはじめ日本でも 1 型糖尿病の標準治療としての位置づけが広がりつつあります。

従来の頻回インスリン注射（MDI）と比較して、AID 療法は、一人ひとりの状態の変化に応じたインスリン投与を可能とし、血糖管理の改善を支援するとともに、日々の糖尿病管理の負担軽減が期待されます。長期的には、血糖値を目標に近い状態で保つことが、将来的な合併症リスクの軽減にもつながると考えられます。こうした技術の進化とともに、「夜間も安心して眠れるようになった」「やりたいことに集中できる時間が増えた」など、日々の生活に変化を感じる患者さんの声が多く聞かれています。インスリンポンプ療法は、糖尿病とともに生きる人々の「自分らしい毎日」を支える選択肢として、進化を続けています。

**血糖値と相関する皮下グルコース値を持続的に測定することで、血糖の変化をとらえています。

***基礎インスリンの自動調節機能を指します。食事の際の追加のインスリン投与（食事ボース）は別途操作が必要です。

1 型糖尿病について

1 型糖尿病は、インスリンポンプ療法や AID 療法の主な対象となる疾患の一つであり、膵臓のインスリンを産生する細胞（B 細胞）が自己免疫などの要因によって機能を失うことで発症する病気です。膵臓からのインスリン分泌がほとんどなくなるため、毎日のインスリン補充が欠かせません。発症は子どもや若年層に多く見られますが、年齢を問わず、幅広い年代で発症する可能性があります。また、生活習慣とは無関係に、ある日突然発症するため、現在もその原因解明に向けた研究が続けられています。

国内の 1 型糖尿病患者数は約 9 万 2 千人⁶と推定されており、長期にわたる継続的な治療が必要です。患者さんの数が少ないこともあり、1 型糖尿病についての正しい理解はまだ社会に十分に浸透しているとは言えません。そのため、十分に知られていないことで生じる誤解から、学校や職場などで 1 型糖尿病の当事者が困難を経験するケースも少なくありません。

MiniMed（ミニメド）について

MiniMed は、インスリンデリバリー分野の世界的リーダーとして、約 80 カ国で糖尿病とともに生きる人々を支える治療法の進化を牽引しています。インスリンデリバリーシステム、CGM、アルゴリズム、そして使いやすいアプリ体験まで、すべてのソリューションを網羅し、シームレスに連携する統合エコシステムを構築し、きめ細やかで包括的なサービス体制で支えています。40 年以上にわたり、ニーズを先取りし、日々の治療の負担を軽減しながら、糖尿病とともに生きる日々をよりシンプルにする、信頼されるソリューションを開拓し続けてきました。私たちの使命は、糖尿病とともに生きるすべての人々の毎日を、もっと良い日にすることです。

※メドトロニックの糖尿病事業部門ダイアビータスは 2026 年 3 月、MiniMed として新たな一歩を踏み出しました。

<https://www.minimed.com/jp>

[†]インスリン頻回注射療法（1 日 4 回の場合）は年間 1,460 回、エクステンデッド注入セット（7 日交換の場合）は年間 52 回として試算

1. Zhang G, et al. Development of the Extended Infusion Set and Its Mechanism of Action. J Diabetes Sci Technol. 2024;18(2):454-459. doi:10.1177/19322968221112120

2. Zhang G, et al. 986-P - Assessment of adhesive patches for an extended wear infusion set. 80th ADA International Conference, June 2020.

3. Ilany J, et al. Abstract 416 - Clinical study of a new extended wear infusion set design. 13th ATTD International Conference. February 2020.

4. Zhang JY, et al. Advances in Insulin Pump Infusion Sets Symposium Report. J Diabetes Sci Technol. 2021;15(3):705-709.
5. Brazg R, et al, Diabetes Technol Ther. 2022; Mar 24. doi: 10.1089/dia.2021.0540.
6. 2017 年厚生労働科学研究 田嶋班